

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	福山市立久松台小学校 講演…全校児童 351名 実技…6年児童 64名 保護者 6名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① その他（ 学活 ）
4 目 標 (ねらい)	・オリンピックの講演を通して、自分自身の夢の実現や生き方について考える。 ・オリンピックの実演を見たり、実技指導を受けたりすることを通して、スポーツやオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心の向上を図る。
5 取組内容	・事前学習として、各学級で、東京オリンピック・パラリンピックの開催について学習を行い、また、競技としての新体操の説明や、田中琴乃選手についての説明を行った。 ・オリンピック・パラリンピックのマスコットキャラクターの投票を行った。 ・事後学習は、各学級で振り返りを行い、一人ひとりが考えたことを手紙や文章にまとめた。 ・田中選手やオリンピックについて校内掲示を行った。
6 主な成果	・オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まり、自主学習等で調べる児童が増えた。 ・将来の夢や、夢の実現について、考えを深めることができた。 ・新体操という競技について、知識を深め、興味・関心をもつことができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	・学校の体育館を使って日頃から新体操をしている児童がいることがきっかけとなり、講演会の参観を保護者や地域にも呼びかけた。
8 主な課題等	・実施が2 学期終業式の前々日だったため、事後指導として、さらに学習を深めていくことができなかった。実施計画の見直しを行う必要があった。
9 来年度以降 の実施予定	・来年度も継続して、オリンピック・パラリンピアンによる講演・実技指導を行う。他教科と関連を図り、より長期的な学習の中で、講演・実技指導を位置づけたい。